

THE RECORD

RIAJ 社団法人 日本レコード協会

平成7年4月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541)4411(代)

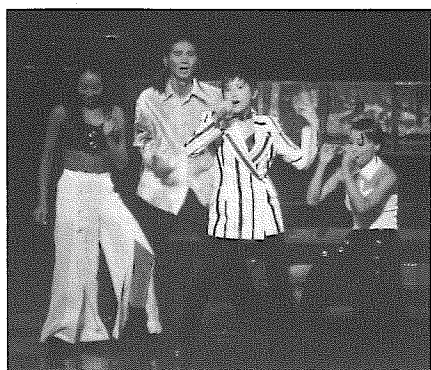
平成7年4月号 No. 425

第9回日本ゴールドディスク大賞授賞式行わる

当協会主催の第9回日本ゴールドディスク大賞の授賞セレモニーが、3月3日、東京・渋谷のNHKホールに於て、盛大に行われました。

セレモニーは、まず、EAST END×YURIのオープニングアクトに続き司会の赤坂泰彦さん、大桃美代子さんが登場して始まりました。

今年も昨年同様、受賞者によるライブ演奏が行われました。篠原涼子、BeerB、藤谷美和子、藤あや子、五木ひろし、この授賞式のために来日した洋楽グランプリ・ニュー・アーティスト受賞受賞のリセット・メレ



trfのライブ

ンデス、そして日本ゴールドディスク大賞(邦楽)受賞のtrfの皆さんが熱演を繰り広げ、例年を上回る盛り上がりを見せました。また、アルバム賞アニメ・学芸部門の「ライオン・キング」サウンドトラックの受賞には、デイズニーランドからミッキーマウス、ミニーマウスが駆け付け、授賞式に花を添えました。

また、今年は受賞アーティストの方々より、受賞賞金を阪神大震災の被災者救済のための義援金としたことのお申出があり、当日授賞セレモニー終了後に贈呈式が行われ、当協会の松尾会長より、NHK厚生文化事業団の代表の方にアーティストの



リセット・メレンデスのライブ

方々の受賞賞金より千八百七十万円と当協会からの同額の義援金千八百七十万円を合計した三千七百四十万円が手渡されました。この義援金はNHK厚生文化事業団より、日本赤十字社を通じて、被災者救済のために使途されます。

なお、この授賞セレモニーの様子は3月3日(金)当日にNHK衛星第2放送、4日(土)にはNHK総合テレビ及びニッポン放送にてオンエアされ、4日のNHK総合テレビに關しては過去最高の視聴率(関東地区・14.2%／関西地区・18.4%)ビデオリサーチ調べ)を記録しました。



ファイナル

著作権審議会マルチメディア小委員会 ワーキング・グループ検討経過報告書を公表

著作権審議会マルチメディア小委員会は、平成5年秋に、マルチメディア・ソフトに使用される著作物等の権利処理について、第一次報告書を公表しましたが、この報告書では、マルチメディアに関する問題の所在を指摘し、マルチメディア製作者と権利者のそれぞれが協議の窓口となる団体を形成することが提案されました。その後、さらに専門的見地から詳細な検討を行うワーキング・グループを設置し、マルチメディアに係る著作権問題について検討を重ね、平成7年2月14日、その検討経過を公表しました。

今回の報告書は、確定的な結論を出したのではなく、論点ごとにくつつかの対応策を提示し、関係者からの意見を求めています。

この報告書は、まず、日本の著作権制度のさまざまな事項についての「現状」を述べ、次いでその「問題の所在」「国際的動向」に言及し、「考えられる対応例」を示し、そのような対応を行うことの可否やその検討に当たって留意すべき点について「考察」を行なうという5部構成となっています。

フォーライフレコード勝訴！ アルバム・タイトルは商標の使用に当たらず

㈸フォーライフレコードは、井上陽水のCD「UNDER THE SUN」について、商標権侵害による損害賠償の請求を受けておりましたが、平成7年2月22日、東京地方裁判所において、勝訴の判決を得ました。

本件は、おもちゃ、運動具、楽器、レコード等を指定商品とする24類に「UNDER THE SUN」を商標登録している原告とフォーライフレコードとの間で、アルバムのタイトルが商標の使用に当たるか否かが争われた事件です。

フォーライフ社は、アルバム・タイトルは書籍の題号と同様、その内容である著作物を表示するものであるとして、商標の本質的機能である自己商品識別機能、出所表示機能を欠いており、CDそのものの商品としての商標ではないので、商標の使用には当たらないと主張しました。

これに対し原告は、CDに収録されている音楽情報を、商品であるCDから分離して考えることはできない。CDは、音楽情報と媒体であるCD盤とが一体となっており、この両方があって初めて商品となり得る

のであって、音楽情報を含まないCD盤はCD商品ではなく、CD盤のない音楽情報はCD商品ではない。したがって音楽情報に関する標章もCD商品に関する商標となり得る、と主張しました。

東京地方裁判所は、本件標章の使用は、「本件アルバムについて付けられた題号であると認識し、有体物である本件CDを製造、販売している主体である被告を表示するのは、アルバム・タイトルとは別に本件CDに付されているフォーライフ商標や被告の社名であることは明らかである」とし、原告の請求は理由がない、と原告の請求を退けました。

この判決は、既に控訴期間（判決の送達日から2週間）を経過し、原告側の控訴がありませんでしたので、確定しています。

アルバム・タイトルについては、以前にも、当協会加盟社の中には、商標の使用料の請求などを受けた会社もあったと聞いていますが、今回裁判所の判断が出たことで、この種の争いに終止符が打たれることが期待されます。

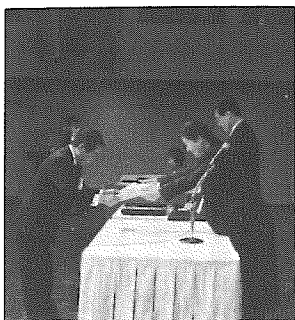
芸術作品賞の授賞式

去る3月22日、赤坂プリンスホテル別館ロイヤルホールにおいて、平成6年度の「文化庁芸術作品賞」授賞式が行われ、岡崎トミコ文部政務次官から賞状および賞金が授与されました。レコード部門では、一部9作品、二部34作品の合わせて43作品の申請がありましたが、次の4作品が受賞の栄に輝きました。

○一部／邦楽系音楽等
・現地録音による「椎葉の民謡」
(ビクターエンタテインメント 株式会社)

○二部／洋楽系音楽等
・加藤元章 現代作品集

(有限会社ナミ・レコード)
・シェーンベルク
歌劇「モーセとアロン」
(ビクターエンタテインメント)



受賞されるビクターエンタテインメント富塚社長

国際著作権界の動向についてはW IPOの「レコード製作者と実演家のための国際新文書」、WTO設立協定に関連するTRIPS協定、その他欧米の著作権問題に関する検討の中で、特にレコードに関する問題を中心に、詳しい講演が行われました。

著作権研修会開催

去る3月8日、当協会は、京橋会館において著作権研修会を開催しました。

同研修会には、横浜国立大学の山中伸一助教授と文化庁著作権課の作花文雄課長補佐を講師に招き、それぞれ「最近の国際著作権界の動向」「WTO設立協定締結に伴う著作権法一部改正」をテーマにご講演頂きました。

株式会社

・21世紀へのメッセージVol.1
(ポリドール株式会社)

また本年度は、優秀映画作品賞で(株)ポニーキャニオンの「800 T W O L A P R U N N E R S」と(株)ソニー・ミュージックエンタテインメントの「3丁目のタマうちのタマ知りませんか?」の2作品も受賞しました。

受賞作品の受賞理由と審査概要については次号でご紹介します。

た。

また、著作権法の一部改正についてはTRIPS協定の実施に必要な改正部分について、立法に至る手続的な部分も含めて、判り易い講演が行われたほか、マルチメディア小委員会ワーキング・グループの報告書の内容に対する解説も加えられました。

CDレンタル店全店調査の準備進む

全国のCDレンタル店数は、本年2月末現在で四千五百八十三店となり、昨年2月末の四千七百四十一店から、百五十八店減少しています。

昨年の10月からは禁止の第3ステップに入り、新譜邦楽アルバムは最長3週間レンタル禁止となりました。また、近年洋楽レコードが好調な売上を示していることから、レンタルの品揃えを見直し、洋盤の在庫を大きく変えた店舗が増えるなど、その営業内容は変貌を続けています。

このため、CDレンタル店の実態を掴み、また、レンタルの違反行為を未然に防止する目的で、昨年同様会員各社のご協力を得て、CDレンタル店全店の定期実態調査を4月21日～6月20日の間実施することになり、現在特別業務部でその準備が進められています。

会議メモ (主なもの)

(3月1日～3月31日)

- 3・1 法制委員会
- 3・6 TSCエキスパート会議
- 3・7 営業部会
- 3・7 補償金WG
- 3・9 著作権部会
- 3・9 JASRAC委員会

- 3・9 二次使用料委員会
- 3・10 レコード制作基準倫理委員会
- 3・13 法制委員会
- 3・14 JASRAC委員会
- 3・15 業務委員会
- 3・15 邦楽制作部会
- 3・16 Q盤プロジェクト
- 3・17 労政部会幹事会
- 3・22 法制委員会

- 3・22 洋楽宣伝専門部会
- 3・22 TSCエキスパート会議
- 3・23 洋楽企画専門部会
- 3・24 ビデオ部会
- 3・24 資材専門部会
- 3・28 法制委員会
- 3・29 情報システム部会
- 3・30 制作技術専門部会
- 3・31 理事会

会員社2社増えて、 29社に

かねてより、当協会入会を希望していましたが、(株)ビッグラムレコーズと、エイベックス・ディー・ディー(株)の2社が、それぞれ2月度理事会、3月度理事会において入会を承認さ

れ、4月1日より、会員として迎えられるました。

〔(株)ビッグラムレコーズ〕

所在地…港区六本木6-8-10

代表者…小松 久

〔エイベックス・ディー・ディー(株)〕

所在地…港区南青山5-10-2
第2丸曜ビル

代表者…依田 巖

■代表者交替について

当協会会員社の(株)ワーナーミュージック・ジャパンと、ポリドール(株)の2社において、左記のように代表者の交替がありましたのでお知らせ

日本レコード協会 平成7年度事業計画(概要)

〔重点施策項目〕

- 1、レコード製作者の権益の拡充
- 2、需要拡大、P R事業の推進
- 3、貸レコード市場秩序の維持・推進
- 4、デジタル技術の進展に伴う諸問題への対応
- 5、国際間の情報収集・交換と諸問題への対応

〔事業計画〕

- 1レコード製作者の権益に関する事業
 - (1)著作権法改正関連問題の促進
(レコード演奏権問題、送信権問題、輸入権問題等)
- (2)レコード二次使用料、貸レコード使用料指定団体業務および関連対策の実施
- (3)私的録音補償金の指定管理団体の構成員としての業務
- (4)不法複製レコード対策の実施および不正商品対策協議会への参加

- (5)国際レコード産業連盟(IFPI)との連携・協力
- (6)文化庁、著作権情報センター等への協力

2 需要拡大に関する事業

- (1)需要拡大キャンペーンおよび音楽ギフトカード普及対策の実施
- (2)日本ゴールドディスク大賞の実施
- (3)ゴールド・アルバム等の認定ほか

3 P R、渉外に関する事業

- (1)著作権思想の普及
- (2)レコード週間行事の検討・実施

4 営業・宣伝に関する事業

- (1)需要拡大策の具体的な展開
- (2)営業関係・宣伝関係諸問題の研究

5 制作に関する事業

- (1)著作物使用契約関係対策の実施
- (2)レコード倫理に関する自主規制

6 税制に関する事業

- (1)法人税、消費税等への対応
- (2)税制改正要望の検討および税制研

7 技術に関する事業

- (1)将来のソフト・ディストリビューション、次世代CDに関する調査研究
- (2)ソフト関連情報の記録・伝送に関するルールの確立
- (3)新開発技術・商品に関する動向調査および対応策の研究・実施
- (4)ISRCの実施促進
- (5)消費者保護対策の研究・実施
- (6)レコードの制作・製造・品質技術に関する調査研究及び標準化推進

8 企画・調査に関する事業

- (1)「レコードばん」の普及促進
- (2)レコード商品マスタの利用拡大
- (3)業界統計資料の作成
- (4)アジアの音楽産業問題に関する事業
- (5)ビデオ事業に関する諸問題の研究
- (6)ビデオ関連諸問題の研究
- (7)ビデオの需要拡大策の検討
- (8)独占禁止法の研究および遵守の推進
- (9)その他

します。

(株)ワーナーミュージック・ジャパン
2月28日付

新任…小杉理宇造氏(会長と兼務)

退任…折田育造氏

ポリドール(株)
3月22日付

新任…折田育造氏(社長就任)

笠原壮夫氏(会長就任)

■社名変更について

日本フォノグラム株式会社は、平成7年3月21日付をもって、社名を「マーキュリー・ミュージックエンタテインメント株式会社」に変更いたしました。

■事務局人事

当協会事務局人事が左記のとおり発令されましたので、お知らせいたします。

・2月1日付 事務局長 千葉卓男
(ビクターエンタテインメント(株)より出向)

・3月16日付 事務局長付部長 芦沢四朗
(株)ポニーキャニオンより出向)

なお、前号でもお知らせしましたとおり、2月度理事会・総会において、加藤郁夫前専務理事の辞職が承認され、同氏は2月28日を以て退職されました。

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成7年2月度(1月21日~2月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル5位			
1.	奇跡の地球	桑田佳祐/Mr. Children (V) (TF)	
2.	HELLO	福山雅治 (BV)	
3.	masquerade	trf (AV)	
4.	Just believe in love	ZARD (BG)	
5.	Secret Night ~It's My Treat~	WANDS (BG)	
■洋楽シングル5位			
1.	オールウェイズ・ラヴ・ユー／ ビゲスト・パート・オブ・ミー (RADIO M.V.)	TAKE 6 (WJ)	
2.	トラブル	シャンプー (TO)	
3.	アイム・ノット・イン・ラヴ	10 cc (PH)	
4.	SUKIYAKI(上を向いて歩こう)	4 P. M. (PO)	
5.	ヒーロー	マライア・キャリー (SME)	
■邦楽・洋楽合同アルバム5位			
1.	DECADE	米米 CLUB (SME)	
2.	BUMPIN' VOYAGE	久保田利伸 (SME)	
3.	GUITARHYTHM FOREVER VOL. 1	布袋寅泰 (TO)	
4.	GUITARHYTHM FOREVER VOL. 2	布袋寅泰 (TO)	
5.	Atomic Heart	MR. CHILDREN (TF)	
■クラシックアルバム5位			
1.	チャイコフスキー：弦楽区レナード	チェロ・アンサンブル・ コンサート (MME)	
2.	グリーンズリーヴス ～シェークスピアの時代の音楽	村治佳織 (V)	
3.	チャイコフスキー：交響曲第5番	小澤征爾指揮/ベルリン・ フィルハーモニー管弦楽団 (MME)	
4.	羽田健太郎のポップス・コンサート	羽田健太郎指揮 (P)/ 新星 POPS (MME)	
5.	ピアノよ歌え～春よ、来い～	小原 孝 (TO)	
■洋楽アルバム5位			
1.	バランス	ヴァン・ヘイレン (WJ)	
2.	ウェイティング・フォー・ ザ・パンチライン	エクストリーム (PO)	
3.	ウィー・アー・シャンプー	シャンプー (TO)	
4.	グレイテスト・ヒッツ	シンディ・ローパー (SME)	
5.	MAX	マライア・キャリー 他 (SME)	

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/ティチク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファミュージック(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メディアモリス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BC)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロックイットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AV)/ピージ(BJ)/ヴァンレコード(ZA)/BMGルームス(BM)/ビーグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EF)

2月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

2月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (21作品)

- 3ミリオン
Impressions/竹内まりや (EW)
- トリプル・プラチナ
WORLD GROOVE/trf (AV)
- ミリオン
Calling/福山雅治 (BV)
- ダブル・プラチナ
誰かのために鐘は鳴る/浜田省吾 (SME)
- グレイテスト・ヒッツ
/シンディ・ローパー (SME)
- プラチナ
DECADE/米米CLUB (SME)
- BUMPIN' VOYAGE/久保田利伸 (SME)
- GUITARHYTHM FOREVER VOL. 1
/布袋寅泰 (TO)
- Cool/SMAP (V)
- anytime/小泉今日子 (V)
- バランス/ヴァン・ヘイレン (WJ)
- ハート・オブ・マイン
/ボビー・コールドウェル (PO)
- ゴールド
GUITARHYTHM FOREVER VOL. 2
/布袋寅泰 (TO)
- J・A・M
/JUDY AND MARY (SME)
- It's only Ballad/中西保志 (C)
- ファイナルファンタジーVI オリジナル・サウンド・
ヴァージョン/ゲームミュージック (PS)
- 純情可憐乙女模様/内田有紀 (K)
- ダラース/C.J.ルイス (MV)
- シーズ・ソー・アンジュリアル
/シンディ・ローパー (SME)
- ウェイティング・フォー・ザ・パンチライン
/エクストリーム (PO)
- スウィーテスト・デイズ
/ヴァネッサ・ウィリアムス (MME)

■シングル (23作品)

- トリプル・プラチナ
クレイジー・ゴナ・クレイジー/trf (AV)
- 奇跡の地球/桑田佳祐
/MR. CHILDREN (V) (TF)
- HELLO/福山雅治 (BV)
- masquerade/trf (AV)
- ダブル・プラチナ
今を抱きしめて/NOA (FUN)
- DA. YO. NE
/EAST END×YURI (SME)
- POISON/布袋寅泰 (TO)
- もっも もっも...
/篠原涼子 with t. komuro (SME)
- 息子/奥田民生 (SME)
- LOVE YOU ONLY/TOKIO (SME)
- HERO/中山美穂 (K)
- Just believe in love/ZARD (BG)
- Secret Night ~It's My Treat~
/WANDS (BG)
- ゴールド
MAICCA/EAST END×YURI (SME)
- 二人は恋人/森高千里 (EP)
- HELLO, IT'S ME/L→R (PC)
- シングルベスト/しゃ乱Q (BV)
- ラブリー/小沢健二 (TO)
- テレビまんが「美少女戦士セーラームーン」から
ムーンライト伝説/DALI 他 (C)
- あなたの世代へちづけを/親月ありさ (C)
- 煌めく瞬間に捕らわれて/MANISH (ZA)
- エンドレス・ラヴ/ルーサー・ヴァンドロス&
マライア・キャリー (SME)
- ネコの聖しこの夜/ジングルキャッツ (FUN)

世界の話題

■第37回グラミー賞受賞者リスト (上)

最優秀楽曲賞

「ストリーツ・オブ・フィラデルフィア」ブルー
ス・スプリングスティーン

最優秀レコード賞 (シングル)

「オール・アイ・ワナ・ドウ」シェリル・クロウ/
ビル・ボットレル

最優秀アルバム賞

「MTVアンブラグド」トニー・ベネット/デヴィ
ッド・カーン

最優秀新人賞

「チューズデー・ナイト・ミュージック・クラ
ブ」シェリル・クロウ

最優秀プロデューサー (ノン・クラシカル) ドン・
ウォズ

最優秀ポップアルバム

「心の絆」ボニー・レイット

最優秀ポップ女性ボーカル (シングル)

「オール・アイ・ワナ・ドウ」シェリル・クロウ

最優秀ポップ男性ボーカル (シングル)

「愛を感じて」エルトン・ジョン

最優秀ポップ・デュオ/グループ (ボーカルつき)

「アイ・スウェア」オール・フォー・ワン

最優秀ポップ・ボーカル・コラボレーション

「ハニー・ハウ・タイム・スリッパ・アウェイ」
アル・グリーン&ライル・ラヴェット

最優秀ポップインストゥルメンタル

「クルージン」ブッカー・T & MG'S

最優秀トラディショナル・ポップ

「MTVアンブラグド」トニー・ベネット

最優秀ロック楽曲賞

「ストリーツ・オブ・フィラデルフィア」ブルー
ス・スプリングスティーン

最優秀ロック・アルバム

「ウー・ドゥー・ラウンジ」ローリング・ストーン
ズ

最優秀ロック女性ボーカル (シングル)

「カム・トゥ・マイ・ウィンドー」メリッサ・エス
リッジ

最優秀ロック男性ボーカル (シングル)

「ストリーツ・オブ・フィラデルフィア」ブルー
ス・スプリングスティーン

最優秀ロック・デュオ/グループ (ボーカルつき)

「クレイジー」エアロ・スミス

最優秀ハード・ロック (ボーカルつき) (シングル)

「ブラック・ホール・サン」サウンドガーデン

最優秀ロック・インストゥルメンタル (シングル)

「独立」ピンク・フロイド

最優秀メタル (アルバム)

「スプーマン」サウンドガーデン

最優秀オルタナティブ

最優秀オルタナティブ・ミュージック・アルバム

「ドゥーキー」グリーン・デイ

最優秀R&B楽曲賞 (シングル)

「メイク・ラブ・トゥ・ユー」ボーイズIIメン

最優秀アルバム賞

「II」ボーイズIIメン

最優秀R&B女性ボーカル

「熱い吐息」トニー・ブラクストン

最優秀R&B男性ボーカル

「ホエン・キャン・アイ・シー・ユー」ベビーフェ
イス

最優秀R&Bデュオ/グループ (ボーカルつき)

「メイク・ラブ・トゥ・ユー」ボーイズIIメン
<ブルース>

最優秀トラディショナル・ブルース・アルバム

「フロム・ザ・クレードル」エリック・クラプトン

最優秀コンテンポラリー・ブルース・アルバム賞

「FATHER FATHER」POPS STAPIES

最優秀ゴスペル

最優秀コンテンポラリー・ブルース・アルバム

「MERCY」ANDRAE CROUH

最優秀ロック・ゴスペル・アルバム

「WAKE-UP CALL」PETRA

最優秀R&Bゴスペル・アルバム

「I KNOW WHO HOLDS TOMMOROW」

ALISON KRAUSS AND THE COX FAMILY

最優秀トラディショナル・ソウル・ゴスペル・アル バム

「SONGS OF THE CHURCH LIVE IN
MENPHIS」ALBERTINA WALKER

最優秀コンテンポラリー・ソウル・ゴスペル・アル バム

「ジョイン・ザ・バンド」テイク6

最優秀ゴスペル・アルバム (聖歌隊・合唱団)

「THROUGH GOD'S EYES」REV. MILTON

BRUNSON & THE THOMPSON

COMMUNITY SINGERS

「LIVE A CELEBRATION OF PRAISE」

O'LANDA DRAPER, CHOIR DIRECTOR

(ASSOCIATES)

最優秀カントリー

最優秀カントリー楽曲賞

「アイ・スウェア」ゲイリー・ベーカー&フラン
ク・J・メイヤーズ

最優秀カントリー・アルバム賞

「ストーンズ・イン・ザ・ロード」メアリー・チェ
イピン・カペンター

最優秀カントリー女性ボーカル

「シャット・アップ・アンド・キス・ミー」メアリ
ー・チェイピン・カペンター

最優秀カントリー男性ボーカル

「ホエン・ラブ・ファインズ・ユー」ヴィンス・ギ
ル

最優秀カントリー・デュオ/グループ (ボーカルつ
き)

「ブルース・フォー・ディキシー」アスリープ・ア
ット・ザ・ホイール・ウイズ・ライル・ラヴェット

最優秀カントリー・ボーカル・コラボレーション
(シングル)

「アイ・フォー・トゥ・ビー・セズ」アロン・ネ
ヴィル&・トリ・シャ・イヤウッド

最優秀カントリー・インストゥルメンタル (アルバ
ム)

「YOUNG THING」CHET ATOKINS

最優秀ブルーグラス

最優秀ブルーグラス・アルバム

「THE GREAT DOBRO SESSIONS」JERRY

DOUGLAS & TUT TAYLOR

最優秀フォーク

最優秀トラディショナル・フォーク・アルバム

「奇妙な世界に」ボブ・ディラン

最優秀コンテンポラリー・フォーク・アルバム

「AMERICAN RECORDING」JONNY CASH

最優秀ラップ

最優秀ラップ・ソロ (シングル)

「U・N・I・T・Y」クイーン・ラティア

最優秀ラップ・デュオ/グループ (シングル)

「ナン・オブ・ユア・ビジネス」ソルト・ン・ペパ
(以下次号)

1995年 2月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百 万 円

表1. オーディオディスク

		2月 月 実 績						1995年 (1月～2月) 累 計					
		数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比	数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比
C	邦 洋	13,537	41	127	8,399	21	112	24,543	40	114	15,217	21	105
	計	156	0	55	100	0	56	684	1	173	257	0	103
	計	13,693	41	125	8,499	21	110	25,227	41	115	15,474	21	105
D	邦 洋	12,486	38	103	21,624	54	100	22,174	36	111	38,032	52	111
	計	6,811	21	124	10,182	25	123	13,332	22	129	20,060	27	130
	計	19,297	58	109	31,806	79	107	35,506	58	117	58,093	79	117
小計	邦 洋	26,023	79	114	30,023	74	103	46,717	77	113	53,249	72	109
	計	6,967	21	120	10,282	25	122	14,016	23	130	20,318	28	130
	計	32,991	100	115	40,305	100	108	60,733	100	116	73,567	100	114
アナログ	邦 洋	35	0	643	68	0	1,168	38	0	84	73	0	129
	計	6	0	10	12	0	14	34	0	48	71	0	60
	計	40	0	68	80	0	88	72	0	62	144	0	82
合 計	邦 洋	26,058	79	114	30,091	75	104	46,755	77	112	53,322	72	109
	計	6,973	21	119	10,293	25	121	14,050	23	130	20,389	28	129
	計	33,031	100	115	40,385	100	107	60,805	100	116	73,711	100	114

表2. オーディオテープ

		2月 月 実 績						1995年 (1月～2月) 累 計					
		数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比	数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比
カセット	邦 洋	1,778	98	85	1,499	98	85	3,710	98	88	3,024	98	83
	計	35	2	160	31	2	112	72	2	113	68	2	97
	計	1,813	100	86	1,531	100	86	3,782	100	89	3,092	100	83
カートリッジ	邦 洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	邦 洋	1,778	98	85	1,499	98	85	3,710	98	88	3,024	98	83
	計	35	2	160	31	2	112	72	2	113	68	2	97
	計	1,813	100	86	1,531	100	86	3,782	100	89	3,092	100	83

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

		2月 月 実 績						1995年 (1月～2月) 累 計					
		数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比	数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比
邦 洋	盤	2,226	99	219	1,189	96	121	4,575	100	229	2,576	98	130
	計	18	1	10,975	45	4	10,100	21	0	13,048	58	2	13,104
	計	2,244	100	221	1,234	100	126	4,596	100	230	2,634	100	133

表4. ビデオレコード

		2月 月 実 績						1995年 (1月～2月) 累 計					
		数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比	数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比
ディスク	邦 洋	989	38	69	3,097	33	65	2,093	41	81	6,592	35	80
	計	1,635	62	109	6,416	67	112	3,043	59	118	12,423	65	119
	計	2,623	100	89	9,513	100	90	5,136	100	99	19,015	100	102

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

		2月 月 実 績						1995年 (1月～2月) 累 計					
		数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比	数 量	構成比	前 年 同 月 比	金 額	構成比	前 年 同 月 比
オーディオ	邦 洋	34,844	88	113	41,915	80	106	64,587	87	114	76,803	78	112
	計	2,244	6	221	1,234	2	126	4,596	6	230	2,634	3	133
	計	2,623	7	89	9,513	18	90	5,136	7	99	19,015	19	102
複合型CD	邦 洋	2,226	99	219	1,189	96	121	4,575	100	229	2,576	98	130
	計	18	1	10,975	45	4	10,100	21	0	13,048	58	2	13,104
	計	2,244	100	221	1,234	100	126	4,596	100	230	2,634	100	133
ビデオ	邦 洋	989	38	69	3,097	33	65	2,093	41	81	6,592	35	80
	計	1,635	62	109	6,416	67	112	3,043	59	118	12,423	65	119
	計	2,623	100	89	9,513	100	90	5,136	100	99	19,015	100	102
合 計	邦 洋	34,844	88	113	41,915	80	106	64,587	87	114	76,803	78	112
	計	2,244	6	221	1,234	2	126	4,596	6	230	2,634	3	133
	計	37,088	94	113	43,149	82	108	69,183	93	114	79,437	81	112

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

オーディオディスクレコードの輸出入実績

本号は、CDの最近4年間の輸出入実績を図で表わし、アナログディスクとCDの輸出入実績(最近5年間)と1994年の地域別輸出入実績を表で紹介します。
資料:大蔵省関税局「日本貿易統計」(通関実績)から。

図1 CD輸出入金額の推移

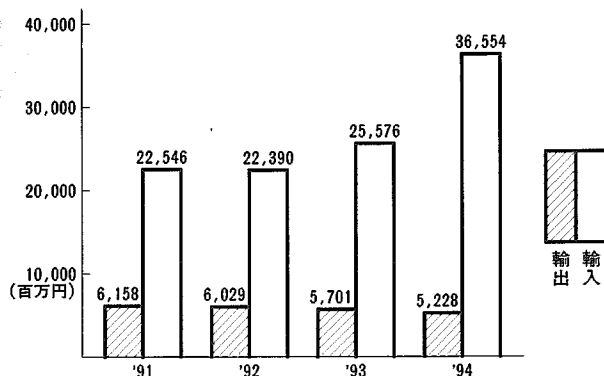


図2 CD輸出入枚数の推移

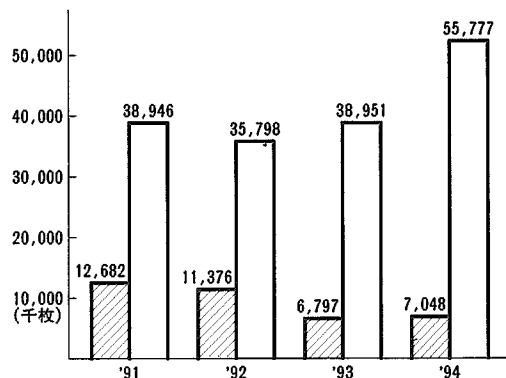


表1 アナログディスクとCDの輸出入実績の推移

西 暦	輸 出				輸 入			
	枚 数 (千枚)		金 額 (百万円)		枚 数 (千枚)		金 額 (百万円)	
	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD	アナログディスク	CD
1990	139	10,101	95	4,815	4,440	32,251	3,244	21,292
1991	116	12,682	68	6,158	3,729	38,946	2,467	22,546
1992	72	11,376	108	6,029	3,382	35,798	2,186	22,390
1993	72	6,797	119	5,701	3,436	38,951	1,776	25,576
1994	21	7,048	30	5,228	4,815	55,777	2,521	36,554

表2 アナログディスク・CDの地域別輸出入実績 <1994年>

金額:百万円, 数量:千枚, ()内は前年比: %

国 名	輸 出			輸 入		
	アナログディスク	CD	計	アナログディスク	CD	計
ア メ リ カ	金額	5(42)	1,423(93)	1,428(92)	1,243(141)	19,145(133)
	数量	3(33)	2,498(130)	2,501(130)	2,523(144)	21,246(142)
ド イ ツ	金額	7(11)	357(79)	364(70)	195(174)	5,078(114)
	数量	5(12)	425(86)	430(80)	224(161)	7,708(83)
イ ギ リ ス	金額	4(33)	167(71)	171(69)	886(158)	7,189(221)
	数量	5(83)	149(72)	154(72)	1,486(168)	8,986(212)
フ ラ ンス	金額	3(60)	215(83)	218(83)	8(100)	655(107)
	数量	3(75)	183(90)	186(90)	11(110)	827(136)
韓 国	金額	0(-)	149(37)	149(37)	1(25)	333(99)
	数量	0(-)	151(18)	151(18)	2(22)	4,838(110)
香 港	金額	2(200)	1,513(110)	1,515(110)	-(-)	829(137)
	数量	1(100)	2,066(116)	2,067(116)	-(-)	2,127(381)
そ の 他	金額	9(41)	1,404(98)	1,413(97)	188(91)	3,325(169)
	数量	4(36)	1,576(115)	1,580(114)	569(90)	10,045(203)
合 計	金額	30(25)	5,228(92)	5,258(90)	2,521(142)	36,554(143)
	数量	21(29)	7,048(104)	7,069(103)	4,815(140)	55,777(143)

(注) 1. 輸出入実績は、委託加工品 (OEM) を含む。

(注) 2. CD輸入実績のうち、レコード会社が外国契約会社から直接輸入した数量は、約4割と推定される。